

計画主体名	山口県 萩市		
計画期間 実施期間	平成24年～平成27年 平成24年	総事業費（交付金）	91,076千円（36,049千円）

1 計画全体について

項 目	チェック欄	判 断 根 拠
目標及び事業活用活性化計画目標が、農山漁村の活性化のための定住等及び地域間交流の促進に関する法律及び同法に基づき国が策定する基本方針と適合しているか	○	目標は、地域間交流を基本に交流人口の増加、及び地域農産物の販売額の増加により地域活性化を図ることを目標としており、活性化法及び基本方針に適合している。 また、これまでに策定した4本の活性化計画については、目標を達成済みもしくは達成見込みである。
市町村総合計画、農業振興地域整備計画、土地改良事業計画、森林・林業基本計画、特定漁港漁場整備事業計画その他各種関連制度・施策との連携、配慮、調和等が図られているか	○	萩市将来展望（H19.3）や山村振興計画書（H19.3）及び過疎地域自立促進計画（H22.12）で、「地域間交流による地域活性化」を明記している。また、農業振興地域整備計画から対象地域を決定するなど、本計画との連携調和が図られている。
活性化計画及び交付対象事業別概要は関係農林漁業者をはじめとした地域住民等の合意形成を基礎としたものになっているか	○	事業実施地区住民への事業説明会や施設整備後の運営母体組織（「むつみキッチン・ばあーば」H25.1設立）との協議等により地域住民との合意形成が図られている。
活性化計画の策定にあたり、女性の意見や提案などを聞く機会を設けているか	○	活性化計画の作成にあたっては、平成25年1月に組織された地域女性団体「むつみキッチン・ばあーば」（施設運営母体組織12名）の意見や提言を活性化計画の策定に反映している。
事業の推進体制は確立されているか	○	萩市農政課、地域政策調整課、商工課、観光課、むつみ総合事務所、県農林事務所で組織する「地域観光ワンプロジェクトチーム」により、地域組織（JA、萩阿西商工会等）とともに事業推進を図ることとしており、推進体制は確立している。

目標及び事業活用活性化計画目標と事業内容の整合性が確保されているか	○	「交流人口の増加」と「地域産物の販売額の増加」を目標としており、地域連携販売力強化施設を整備し、都市との地域間交流の促進並びに地域内で生産された農産物を生産者との連携のもと生産から販売までを行う6次産業化に取り組むための事業内容としており、整合性は確保されている。
計画期間・実施期間は適切か	○	計画期間は平成24年度から平成27年度までの4年間、実施期間は平成24年の1年間（実質は平成24年度補正予算で対応するため、事業実施年度は平成25年度）であり、基本方針及び実施要領で原則3～5年程度と定められた期間内で適切である。 また、施設完成後2年間の事業効果発現期間を設定し、検証及び評価することとしている。
交付金要望額は交付限度額（事業費×交付額算定交付率）の範囲内か	○	交付金要望額及び交付限度額については、延べ床面積が㎡当たり29万円を超えるものについては交付対象外となっていることから、それをを超えるものを除き算定している。（要領運用第4の2の（20）のイ）

2 個別事業について

項目	チェック欄	判断根拠
自力若しくは他の助成によって実施中又は既に完了した施設等を本交付金に切り替えて交付対象とするものでないか	○	今回整備する施設については、新規に実施する事業である。
増改築等若しくは合体又は古材を利用した施設整備を行う場合は、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金実施要領の運用に定める基準を満たしているか	—	該当なし。
交付対象とする施設等は減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第34号）別表等による耐用年数がおおむね5年以上のものであるか	○	施設の建物は木造のものの飲食店用で20年、設備機器は飲食料点小売業用設備機器で9年、飲食店業用設備で8年であり、いずれも5年以上の耐用年数のものである。

事業による効果の発現は確実に見込まれるか		
費用対効果分析の手法は適切か(農山漁村活性化プロジェクト支援交付金費用対効果算定要領(平成19年8月1日付け19企第106号農林水産省大臣官房長通知)により適切に行われているか)	○	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金費用対効果算定要領第2の1により算定しており適切である。
上記の費用対効果分析による算定結果が1.0以上となっているか	○	上記により算定の結果は1.13である。
事業内容、事業実施主体等については実施要綱等に定める要件等を満たしているか	○	要綱等に定める以下の要件を満たしている。 1. 事業実施主体は実施要領第2の2の別表(要件類別14)に定める者であること。⇒萩市が事業実施主体である。 2. 交付額算定率は実施要領第2の2の別表(要件類別14)に定める率であること。⇒交付率は1/2である。 3. 継続的雇用と所得増を生み出すこと。⇒施設内で常時雇用を予定していることから、継続的な雇用と所得を生み出すものである。 4. 6次産業化と女性参画に寄与するものであること。⇒地域連携販売力強化施設において地域の生産者と連携し直売、農産物の加工・販売をする6次産業化を目指している。また、運営母体は、地域女性団体(当初12名)が担うことから、6次産業化や女性参画の促進に寄与する施設である。
個人に対する交付ではないか、また目的外使用のおそれがないか	○	萩市が事業実施主体であり、市の設置条例により管理するため目的外利用のおそれはない。
施設等の利活用の見通し等は適正か		
地域間交流の拠点となる施設にあっては当該地区の入り込み客数や都市との交流状況(現状と今後の見込み)を踏まえているか	○	当該地区の交流人口については、周辺の観光施設や直売施設等の入込客数の現状(H20~H23実績326,443人)を踏まえ、今後、地域連携販売力強化施設の営業開始による相乗効果やグリーンツーリズム(農家体験民泊や修学旅行等)の増加を見込み増加率(22.64%増)を算定している。
近隣市町村の類似施設等の賦存状況と利用状況等を踏まえているか。		施設等の利活用の見通しについて、萩市内に賦存する6ヶ所の道の駅の利用状況を踏まえて検討した。

		○	<p>各施設の平成23年の1日当り平均利用状況と交通量から通行自動車1台当り0.09人が施設利用すると判断した。</p> <p>○ 調査分析した施設と交通量 (営業日数は不明のため365日とした。)</p> <table border="1" data-bbox="1294 304 2089 722"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>年間利用者数</th> <th>1日当り利用者数</th> <th>1日当り交通量</th> <th>1台当り利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゆとりパークたまがわ</td> <td>171,553</td> <td>470</td> <td>3,542</td> <td>0.13</td> </tr> <tr> <td>うり坊の郷 k a t a m a t a</td> <td>65,516</td> <td>179</td> <td>876</td> <td>0.20</td> </tr> <tr> <td>あさひ</td> <td>84,848</td> <td>232</td> <td>3,720</td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>ハピネスふくえ</td> <td>63,028</td> <td>173</td> <td>4,500</td> <td>0.04</td> </tr> <tr> <td>さんさん三見</td> <td>219,676</td> <td>602</td> <td>5,971</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>萩往還</td> <td>258,733</td> <td>709</td> <td>7,780</td> <td>0.09</td> </tr> <tr> <td>平均</td> <td>143,892</td> <td>394</td> <td>4,398</td> <td>0.09</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 上記調査結果をもとに、地域連携販売力強化施設については、施設に面する道路の交通量調査結果を基礎数値とし平成27年の利用者数を年間46,000人(1日平均150人)との見通しを立てた。(年間営業日を309日とした。)</p> <table border="1" data-bbox="1294 855 2089 1023"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>1日当り交通量</th> <th>1台当り利用者数</th> <th>1日当り利用者数</th> <th>年間利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域連携販売力強化施設</td> <td>1,688台</td> <td>0.09人</td> <td>152≒ 150人</td> <td>46,968≒ 46,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 施設整備後4年経過したH29には、認知度の向上と従業員の能力向上により、近隣の「うり坊の郷」と同規模の年間約66,000人(1日平均214人)が施設利用すると判断した。</p>	施設名	年間利用者数	1日当り利用者数	1日当り交通量	1台当り利用者数	ゆとりパークたまがわ	171,553	470	3,542	0.13	うり坊の郷 k a t a m a t a	65,516	179	876	0.20	あさひ	84,848	232	3,720	0.06	ハピネスふくえ	63,028	173	4,500	0.04	さんさん三見	219,676	602	5,971	0.10	萩往還	258,733	709	7,780	0.09	平均	143,892	394	4,398	0.09	施設名	1日当り交通量	1台当り利用者数	1日当り利用者数	年間利用者数	地域連携販売力強化施設	1,688台	0.09人	152≒ 150人	46,968≒ 46,000人
施設名	年間利用者数	1日当り利用者数	1日当り交通量	1台当り利用者数																																																	
ゆとりパークたまがわ	171,553	470	3,542	0.13																																																	
うり坊の郷 k a t a m a t a	65,516	179	876	0.20																																																	
あさひ	84,848	232	3,720	0.06																																																	
ハピネスふくえ	63,028	173	4,500	0.04																																																	
さんさん三見	219,676	602	5,971	0.10																																																	
萩往還	258,733	709	7,780	0.09																																																	
平均	143,892	394	4,398	0.09																																																	
施設名	1日当り交通量	1台当り利用者数	1日当り利用者数	年間利用者数																																																	
地域連携販売力強化施設	1,688台	0.09人	152≒ 150人	46,968≒ 46,000人																																																	
利用対象者、利用時期など施設の利用形態を検討しているか		○	<p>利用対象者は、四季を通じた交流イベント参加者や観光客を対象に検討し、特に近隣の「ひまわりロード」(H23来場者数3,000人/日)や「昆虫王国」(H23入館者数7,300人:ピーク日:538人)で入込客が増加する7月から8月の時期が利用のピークと判断した。また、観光地の萩・津和野ルートでのバスや乗用車の休憩立寄り客も勘案し検討した。</p> <p>なお、観光オフシーズンの12月～3月については</p>																																																		

			<p>、地域外からの入込客数は減少するが、地域内での弁当などの加工品製造販売やレストラン営業などで利用客の確保を図る。</p> <p>○ 利用対象者、利用時期の利用形態を配慮した利用者数の見込み</p> <table border="1" data-bbox="1294 304 2089 908"> <thead> <tr> <th>利用対象者別要因</th> <th>利用時期</th> <th>地域外からの交通量(台/日)</th> <th>1日当りの利用者数</th> <th>営業日数</th> <th>累計利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひまわりロード・昆虫王国営業シーズン</td> <td>7月～8月</td> <td>3,200</td> <td>288</td> <td>53</td> <td>15,264</td> </tr> <tr> <td>萩・津和野観光シーズン(春)</td> <td>4月～5月</td> <td>1,900</td> <td>171</td> <td>52</td> <td>8,892</td> </tr> <tr> <td>萩・津和野観光シーズン(秋)、秋のイベント</td> <td>9月～11月</td> <td>2,040</td> <td>183</td> <td>78</td> <td>14,321</td> </tr> <tr> <td>観光オフシーズン</td> <td>12月～3月</td> <td>730</td> <td>66</td> <td>100</td> <td>6,570</td> </tr> <tr> <td>梅雨時期</td> <td>6月</td> <td>810</td> <td>73</td> <td>26</td> <td>1,895</td> </tr> <tr> <td>年間利用者数等</td> <td></td> <td>平均 1,688</td> <td>平均 150</td> <td>309</td> <td>46,942 ≒ 46,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 1台当りの利用者数：0.09人として換算。</p>	利用対象者別要因	利用時期	地域外からの交通量(台/日)	1日当りの利用者数	営業日数	累計利用者数	ひまわりロード・昆虫王国営業シーズン	7月～8月	3,200	288	53	15,264	萩・津和野観光シーズン(春)	4月～5月	1,900	171	52	8,892	萩・津和野観光シーズン(秋)、秋のイベント	9月～11月	2,040	183	78	14,321	観光オフシーズン	12月～3月	730	66	100	6,570	梅雨時期	6月	810	73	26	1,895	年間利用者数等		平均 1,688	平均 150	309	46,942 ≒ 46,000
利用対象者別要因	利用時期	地域外からの交通量(台/日)	1日当りの利用者数	営業日数	累計利用者数																																								
ひまわりロード・昆虫王国営業シーズン	7月～8月	3,200	288	53	15,264																																								
萩・津和野観光シーズン(春)	4月～5月	1,900	171	52	8,892																																								
萩・津和野観光シーズン(秋)、秋のイベント	9月～11月	2,040	183	78	14,321																																								
観光オフシーズン	12月～3月	730	66	100	6,570																																								
梅雨時期	6月	810	73	26	1,895																																								
年間利用者数等		平均 1,688	平均 150	309	46,942 ≒ 46,000																																								
施設等の規模や設置場所、地域における他の施設との有機的な連携等、当該施設等の利用環境等について検討されているか		○	<p>設置場所は、高俣地区の観光スポットである県道萩津和野線から「ひまわりロード」や「昆虫王国」に至る入り口に設置し、来客者や地元から要望の強い農産物の直売所や食材供給施設、トイレなどを一体に整備するものである。</p> <p>また、高俣地区の他の農産物直売施設について国庫補助による施設は皆無であり、「道の駅うり坊の郷katakata」(平成16年地方単独予算)は、地域資源のイノシシ肉や会員の農産物、及び生活雑貨を販売しており生産者や販売品目は競合しない。施設代表者とは、販売物品が競合しないよう調整を図っているとともに、同じ萩・津和野観光ルートの導線上に位置することから、両施設がお互いの情報発信を行うなど有機的な連携による相乗効果についても検討がされている。</p>																																										

<p>施設の利用や運営等に当たって、女性参画への配慮や促進のための取組がなされているか</p>	<p>○</p>	<p>運営にあたっては、平成25年1月に設立された女性団体（12名）「むつみキッチン・ばあーば」が行うこととしており、また同団体は試作研究や経理について学習している。</p>
<p>事業費積算等は適正か</p>		
<p>過大な積算としていないか</p>	<p>○</p>	<p>他の道の駅や農産物直売施設を参考にし、高俣地区への交流人口の状況（H20～H23累計実績326,443人：1日平均224人）、交通量（平日自動車類交通量H22調査：1,688台）等から利用者数を勘案し、当面、平成27年の当該施設の利用者を年間46,000人（1日平均150人：夏季288人）とした。</p> <p>また、観光客等の認知度が向上し営業が本格化する平成29年には、直売施設「うり坊の郷」と同程度の年間66,000人（1日平均214人：夏季307人）と見込み規模決定している。</p> <p>◎規模決定根拠</p> <p>「農産物直売所」（1日：1回出荷量100kg×2回転）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商品陳列平台1.66㎡×8台＝13.28㎡ ・ 商品陳列棚0.37㎡×10台＝3.7㎡ ・ 冷蔵ショーケース0.28㎡×2台＝0.56㎡ ・ 物入れ 0.475㎡ ・ 通路等1.8m×27.7m＝50.005㎡ 合計68.02㎡ <p>「倉庫」1.9m×2.22m＝4.23㎡ 合計4.23㎡</p> <p>「レストラン」（定員20名×5回転）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーブル・イス1.8m×1.8m×4セット＝12.96㎡ ・ 座敷2.7m×1.8m＝4.86㎡ ・ 通路・レジ等 22.793㎡ 合計40.613㎡ <p>「厨房」（1日100食調製）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配膳台・調理器具スペース9.75㎡ ・ 作業スペース17.325㎡ 合計27.075㎡ <p>「加工室」「包装室」（1日当り：弁当100食 惣菜100食 もち等加工品50食）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機器設備スペース9.1㎡ ・ 作業スペース33.318㎡ 合計42.418㎡ <p>「事務室」（4人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務机・イス1㎡×4＝4㎡

		<ul style="list-style-type: none"> ・ コピー、電話、ロッカー、通路等 10.44㎡ 合計 14.44㎡ 「更衣室12人」「内部トイレ1」 合計 12.635㎡ 「トイレ」(女性6人分 男性3人分) ・ 女子トイレ和3 洋2 18.585㎡ ・ 男子トイレ小2 大1 9.99㎡ ・ 多目的トイレ」1 5.76㎡ ・ 通路等 4.85㎡ 合計 39.185㎡ 床面積合計 248.616㎡ <p>※トイレの規模決定根拠</p> <table border="1" data-bbox="1292 472 2092 850"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">1日の平均利用回数</td> <td>6.0回</td> <td>5.2回</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">利用時間</td> <td>小便器</td> <td>30秒</td> <td>60秒</td> </tr> <tr> <td>大便器</td> <td>240~300秒</td> <td>300秒</td> </tr> <tr> <td>洗面器</td> <td>45.2秒</td> <td>165秒</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ピーク時利用者数(バス2台、60人、男女同数と仮定して)</td> <td>30人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トイレ休憩所要時間</td> <td>20分</td> <td>20分</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1人当りの利用時間(平均)</td> <td>2分</td> <td>4分</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1便器当り利用可能人数</td> <td>10人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">必要便器数</td> <td>3器</td> <td>6器</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】空気調和・衛生設備工学会資料</p>	項目		男性	女性	1日の平均利用回数		6.0回	5.2回	利用時間	小便器	30秒	60秒	大便器	240~300秒	300秒	洗面器	45.2秒	165秒	ピーク時利用者数(バス2台、60人、男女同数と仮定して)		30人	30人	トイレ休憩所要時間		20分	20分	1人当りの利用時間(平均)		2分	4分	1便器当り利用可能人数		10人	5人	必要便器数		3器	6器
項目		男性	女性																																					
1日の平均利用回数		6.0回	5.2回																																					
利用時間	小便器	30秒	60秒																																					
	大便器	240~300秒	300秒																																					
	洗面器	45.2秒	165秒																																					
ピーク時利用者数(バス2台、60人、男女同数と仮定して)		30人	30人																																					
トイレ休憩所要時間		20分	20分																																					
1人当りの利用時間(平均)		2分	4分																																					
1便器当り利用可能人数		10人	5人																																					
必要便器数		3器	6器																																					
建設・整備コストの低減に努めているか	○	施設設備については既製品のものを使用し、建物の意匠についても簡素なものにするなどして、建設コストの低減に努めている。																																						
附帯施設は交付対象として適正か(必要性はあるか、汎用性の高いものを交付対象としていないか)	○	<p>附帯設備となる階段工については、建設予定地が駐車スペースから一段高いところにあるため、利用客の利便性を考慮し必要である。</p> <p>またトイレ整備については、萩市が設置する公共施設に係る今後の整備方針(平成23年5月30日制定)により特に女性や障害者のへ利便性を確保するため、便器数は男性用1に対し女性用は2となるよう整備することや、手すり・オストメイト対応及びベビーチェアの設置などを方針としていることから当施設においてもこの方針に沿うものとしている。</p>																																						

備品は交付対象として適正か(汎用性の高いものを交付対象としていないか)	○	食材供給や農産物等の加工・販売に必要な食品衛生法上不可欠な備品を整備するもので、業務用のものを目的に沿って専用利用するものであり汎用性はない。
整備予定場所は、集客の立地性、農林漁業者の利便性等、施設の設置目的から勘案して適正か	○	設置場所は、高俣地区の観光スポットである県道萩津和野線から「ひまわりロード」や「昆虫王国」に至る入り口に設置するため集客の適地である。また、高俣地区の中心に位置するため農業者等の利便性は高い。
施設用地が確保されている又は確保される見通しがいつているか	○	施設用地は614㎡で、市と所有者の間において所有権移転の合意はできており、事業着手前には萩市所有地となる。
体験交流機能に加え宿泊機能を備えた施設を整備する場合には、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金実施要領の運用(平成19年8月1日付け19企第102号農林水産省大臣官房長通知)に定める基準を満たすとともに、その必要性について十分に検討しているか	—	該当なし。
交付対象は施設別上限事業費及び上限規模の範囲内か		
処理加工・集出荷貯蔵施設については、「強い農業づくり交付金実施要領」(平成17年4月1日付け16生産第8262号農林水産大臣官房国際部長、総合食料局長、経営局長通知)別記Ⅱの第1の2の(4)のウの基準に照らし適正であるか	—	該当なし。
地域間交流拠点については、延べ床面積㎡当たり29万円以内かつ延べ床面積1,500㎡以内であるか	○	交付対象額は延べ床面積㎡当たり29万円、延べ床面積248.616㎡を計画しており基準の範囲内である。
地域連携販売力強化施設については、以下の内容を満たすものとなっているか		
地域内外又は地域間の相互連携の促進のための取組がなされているか	○	高俣地区の農業集落の農家や農業生産法人と出荷協定を結び、連携した供給の安定を図るとともに、地区内の産品が不足する時期には近隣の地区からの供給が得られるよう協議がなされている。
生産者の販売力強化・ブランド化等に資するために必要な施設であるか	○	高俣地域で生産されている農産物(米、トマトなど)は、そのほとんどが農協に委託販売されており、それらの味や安全性などの品質の高さが消費者に理解されないまま販売されており高品質の割に販売力やブランド化が進んでいない。このことから当施設が整備されることにより、産物の生産地において地元の高品質で新鮮な農産物を直接消費者に対して説明し、販売

		<p>することにより、商品の生産履歴や食味・品質・安全性などについて消費者の理解が促進されることにより高俣地区の農産物の価値が高まりブランド力が強化されるとともに、それらを加工、調理、販売することで消費の拡大と単価アップが期待できる。</p>
1年を通して運営されるものであり、継続的に雇用と所得を生み出す施設であるか	○	<p>運営計画は、1年間を通して運営する計画であり、施設内で常時雇用を予定していることから、継続的な雇用と所得を生み出すことが可能である。（定休日は毎週水曜日とし年末・年始は4日間休業する予定である。）</p>
6次産業化や女性参画の促進に寄与する施設であるか	○	<p>高俣地域の農家・法人が農産物を生産し、当施設で加工し、販売する6次産業化を目指している。また、運営母体は、地域女性団体「むつみキッチン・ばあーば」(12名)が担うこととしており、6次産業化や女性参画の促進に寄与する施設である。</p>
事業実施主体の負担(起債、制度資金の活用等を含む)について十分検討され、適正な資金調達計画と償還計画が策定されているか	○	<p>市が予算措置を行う。補助裏は国の地域の元気臨時交付金と一般財源で対応する予定である。</p>
入札方式は一般競争入札又はこれと同等の競争性のある契約方式によるなど適切なものとなっているか。一般競争入札に付さない場合は、その理由は明確か	○	<p>指名競争入札を予定している。（萩市が発注する工事について、市内業者で対応できる工事内容である場合は、全て地元業者を指名し、地域経済に貢献する方針であるため。）</p>
整備後において施設の管理・運営が適正に行われる見込みであるか		
維持管理計画は適正か(施設の管理・更新に必要な資金は検討済みか)	○	<p>設置後は、市と運営組織で施設維持管理契約を締結し、適正な管理を行う。（大規模修繕は市で、小規模修繕は運営組織が行う計画） 収支計画の中で小規模修繕費も計上している。</p>
収支を伴う施設等にあつては収支計画を策定しているか。また、事業費が5,000万円以上のものについては経営診断を受け、適正なものとなっているか	○	<p>収入は、農産物直売や受託販売手数料、食材供給施設売上げで合計34,025千円。支出は、人件費や光熱水費、仕入れ材料代で合計33,168千円を見込んでおり収支のバランスは取れている。利益は、857千円を見込んでおり将来の維持補修等費用に充てるため積立する予定である。 経営診断については、県商工会連合会が指名した中小</p>

		企業診断士に相談し、平成25年2月末までに策定する見込みである。
他の事業との合体施行等の場合、事業費の按分等が適正に行われているか	—	該当なし。
他の事業への重複申請（予定も含む。）はないか（ある場合には、事業名を記載すること。）	○	他事業との重複申請はない。